



やまなみ

山形市立大曾根小学校

学校だより

令和5年10月28日

校長

No. 9

土井 正路

伝統をつなぐ～大曾根小創立 122 周年～

10月22日に阿部忠美同窓会長様のご臨席の下、122周年創立記念式典を行いました。本校の歴史は明治7年2月、上反田村安養寺の上反田学校から始まります。その後、現在の場所に校舎が建てられ「大曾根尋常小学校」となったのは、明治34年10月20日のことでした。その開校の日から、今日まで122年という長い年月が流れました。今の校舎に



改築されたのは、50年前の昭和48年です。グラウンドの土手は、当時のPTAの方々の奉仕作業で作られました。開校以来、本校は六千名を超える卒業生を輩出しています。式辞では、戦後間もない頃の登下校や昭和四十年代の学校生活のようすを、当時小学生だった先輩の書いた思い出（創立100周年記念誌）から紹介しました。全文は学校ホームページに掲載しております。

上の写真は昭和20年代の運動会の様子です。どんな競技があったのでしょうか。奥には旧校舎が見えます。知っている人に聞いてみたい感じがします。私たちは、大好きな大曾根小学校の伝統を受け継ぎ、大曾根に誇りを持ち、夢に向かって未来を拓き、たくましく生きる子どもを育てて参ります。地域の皆様方におかれましても、変わらぬご支援・ご指導よろしくお願ひいたします。

百二十二年の誕生日、おめでとうございませう。ぼくは今、十二才なので大曾根小は、ぼくの十倍以上長く生きてきたことになりませう。たくさんの方の生徒のがんばりや笑顔、泣き顔などを見てきたことになりませう。一番記憶に残っている生徒は誰か聞いてみたいでせう。そして、ぼくも記憶に残る生徒だといひなと思ひませう。大曾根小の良いところは何か考えてみませう。一つ目は、学年関係なく、みんなで遊ぶことができることです。二つ目は、自然が豊かであるといひことです。春には桜、夏にはバラやひまわり、秋になると校舎脇のキンモクセイが可憐な花をつけて甘くいい香りを放ちませう。冬には雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりすることができませう。三つ目は大曾根小ならではの行事があることです。例へば、米作り、味噌造り、自分たちで育てた里芋での芋煮会などです。その中で心に残ったのは、米作りです。今は機械での作業が主流となりませう。しかし、大曾根小では田植えや稲刈りなどを手作業で行ひませう。この経験は米作りの大変さや指導してくださる地域の方の温かさを感じる素晴らしい経験となりませう。ぼくたち六年生はこの大曾根小で過ごせる日が百日を切つてしまひませう。残された時間も、どうか見守つてください。



自然の家研修 ~不便さを味わう~

10月は1~5年生が自然の家での学習を行いました。11日には3, 4, 5年生が宿泊体験(泊まりは4, 5年生のみ)、13日には1, 2年生が自然体験学習と秋の山の自然を満喫しました。3~5年生の縦割り班での追跡ハイクではみんなで協力しながら時間内にクイズやミッションをクリアしながらゴールを目指しました。山道のために地図上のチェックポイントがなかなか探せず、道に迷いながらもゴールすることができました。その後はカレーライスを作る野外炊飯をしました。スープカレー



ーのようになって、おかゆのようなご飯だったりと思うような調理とはいきませんでした。全員美味しく食べることができました。お家での生活がいかに快適なのか、再確認できたことでしょうか。夜には星空を見上げながら、校長が秋の星座について話をしました。秋の大四辺形(ペガサス座)、西の空には夏の大三角、そしてひととき目立つ木星とたくさんの星を観察することができました。自然の家では我慢する経験、自分の思い通りにいかないときにどう折り合いをつけていくのか、そういったことを学べる場です。もちろん、仲間と協力して一つのことを成し遂げる体験もできます。これからの生活にどう活かしていきますか？



13日は1, 2年生が秋を探しに出かけました。秋晴れの爽やかな天気の中、五感を使った観察ができました。春には見つけられなかった昆虫も捕まえることができました。午後からは、自然の家の先生に案内してもらいながら、サービスセンター周辺の散策をしました。丘の上の展望台にも上りました。山形市内が小さく見えましたね。秋の七草を教えてくださいました。覚え方は「おすきなふくは」だそうです。

お:オミナグサ す:ススキ き:キキョウ な:ナデシコ
ふ:フジバカマ く:クズ は:ハギ

大曾根小の校庭や近くの道ばたにも秋の七草

を見ることができます。どこにあるでしょうね。少しでも自然に興味をもってけると嬉しいです。

速く走るためには？陸上教室

10月のはじめに陸上教室がありました。山形 TFC の芦野大輔先生から、走るために必要なさまざまな体の使い方や走り方の基礎



を習いました。タイヤで馬跳びをしたり、ハードルを跳び越えたり、ジャンプしたりと一見走ることとは関係のない動きにもみえます。しかし、よりよい走りをするためには大事な動作の1つです。学年に応じて、たくさんのトレーニング方法を教えてくださいました。



みんなが主役の運動会

～47人の全カプラー～



新種目：タイヤ取り

10月20日(金)スローガン「苦手なことにも挑戦！みんな協力！47人の全力で運動会を成功させよう！」のもと、秋季大運動会が開催されました。当日の朝の空は雲に覆われ、午後から雨の予想でした。途中の雨も心配されましたが、みんなの元気パワーが天に通じたのか、すべての競技を予定通り行うことができました。当初は9月に予定されていた運動会。9月中は未曾有の暑さであり、急遽変更された日程でした。準備期間も短く、実行委員会、両組の練習時間もなかなかとれない中でしたが、一人一人が責任を果たし、協力し

ながら当日を迎えることができました。

みんなのたくさんの想いが詰まった運動会。スローガンにあるように、運動が得意な子も、そうでない子も自分の組の勝利に向けてがんばる姿に感動しました。

今年度は3点差というぎりぎりの差で白組が勝利しました。結果発表のあと、かなり悔しい気持ちであろう赤組の組頭である一晟さんが白組の組頭である珠生さんに心のこもった拍手を送るとともに、両組の挨拶でも相手を讃える言葉を述べていた姿に目頭が熱くなりました。平日にもかかわらず、子ども達に熱い声援を送っていただいた保護者の皆様、地域の方々に御礼申し上げます。



両組頭の握手



運動会実行委員会



放送局



PTA 保護者の皆様
14日のグラウンド
整備および当日の
片付けありがとう
ございました。



両組の応援団の皆さんです

赤組



白組



ほめほめ言葉

～なかまのいいところを見つけよう～

運動会に向けて、運動会実行委員会のみなさんが団結力を高めようと、「ほめほめ言葉」の企画を考え、昇降口前に掲示してくれました。最終日には掲示しきれないほど、たくさんの方が仲間をほめるメッセージを書いてくれました。昼の全校放送でも紹介してくれました。



3年のはるきさんが
うえんのとき大きい声
をだして応援してい
いいと思いました。

4年 まさき

5年のかんなさんがリレー
で走っているとき、「がんばれ」と
うえんしてくれたのがいい
と思いました。

1年 ゆずき

6年のたまきくんがうえんの時に
がんばって大きな声をだして
いたので、ぼくも全力で声を出
したいと思いました。

5年 はるま

1年のゆめさんがあきらめないで
はっしてすごかった。

1年 まさと

よろしくお願いします。

事務の粟野菜穂が体調不良のために、12月までお休みをいただいております。代わりとして、鈴木礼子が勤務しております。鈴木先生は山形八中にも勤めていらしたことがあるそうです。



11月の主な予定

| | |
|---------|-------------|
| 11/2(木) | 敬老芋煮会 |
| 5(日) | 地区文化の祭り |
| 8(水) | 避難訓練 |
| 11/9、10 | 視力検査 |
| 13(月) | 職員会議 |
| 30(木) | 西部地区学校保健委員会 |